

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

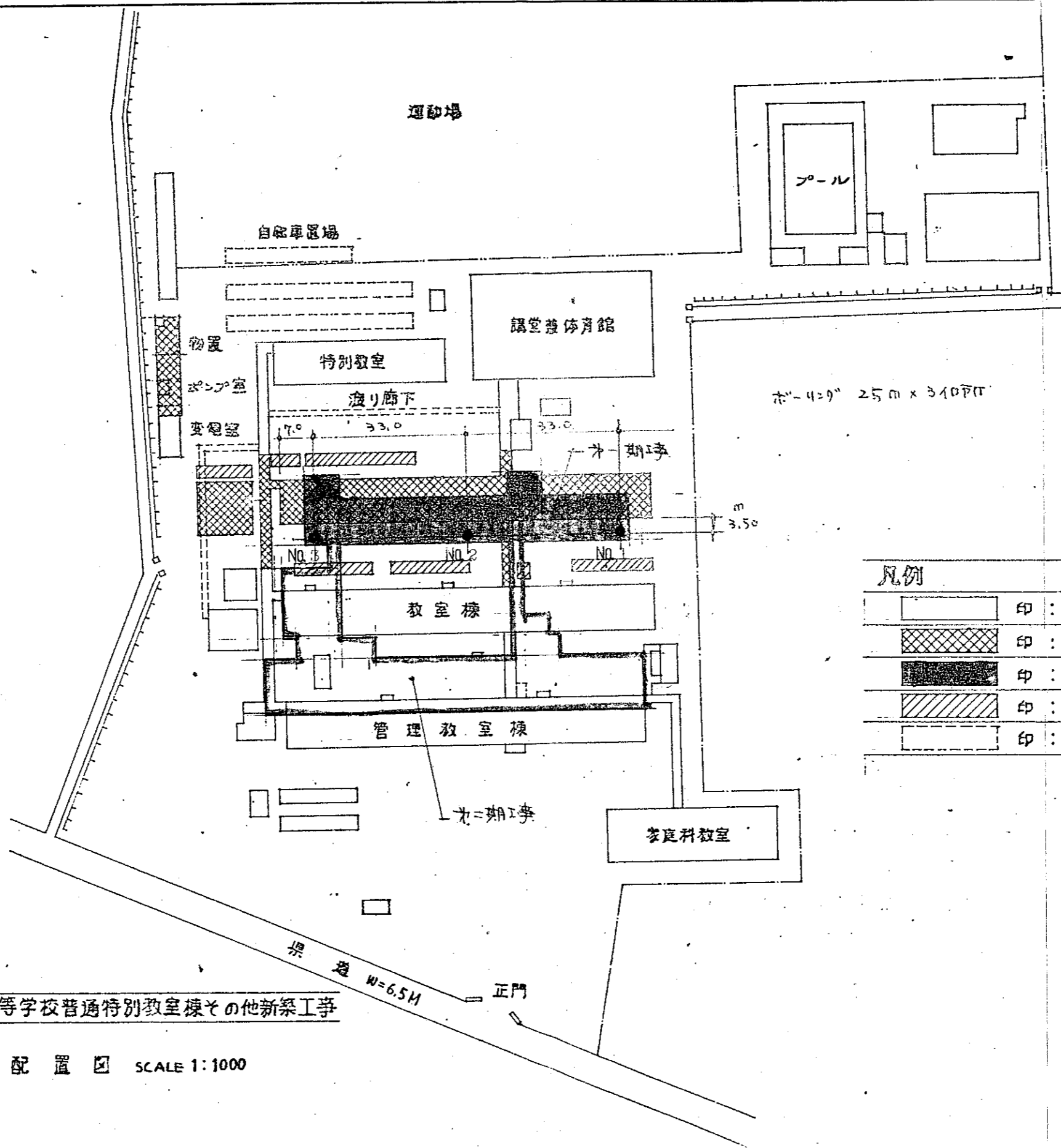
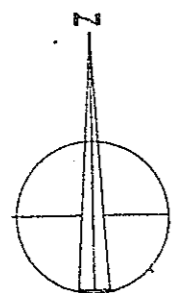
栃木県土木部建築課

2：調査結果

調査地は栃木県芳賀郡芳賀町祖母井地先の洪積台地である。



八溝山脈の周縁地で東側は低い丘陵や段丘が拵がつてをり、西側は五行川等によつて開析された沖積低地に接している。この洪積台地を構成する地質は、ローム及び粘土・砂質土が主に堆積しているが、強度的には不安定な状態を示すようである。



凡例

	印：既設建物
	印：除去建物
	印：新設建物
	印：移設前建物
	印：移設後・仮設建物

栃木県立宇都宮高等学校普通特別教室棟その他新築工事

配置図 SCALE 1:1000

ボーリング柱状図

調査名 県立芳賀高校校舎地質調査
 調査場所 芳賀郡芳賀町祖母井1676

孔番 No. 1 地盤高 _____ m
 (基準面)

摘要

地 形 _____

調査期間 昭和56年2月 日 ~ 月 日

調査担当者 _____

地下(孔内)水位 GL-5.50 m

深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土色調	性相対密度	備考	(注) 試料		原位置試験深度 (m)	標準貫入試験打撃回数
							記号	採取深度 (m)		
0										
1	1.70	///	ロ-ム	暗褐色		少量の腐植物有機物混る	1-2.1	1.15	4	
2	1.10		鹿沼土	茶褐色		粒子2~3mm	1.1/2.3	2.65	3	
3		///		黄褐色		少量の有機物混る	1.3.4	3.15	8	
4		///		茶褐色		少量の有機物混る	1.7.3/3	4.45	3	
5		///		茶褐色		6m附近有機物混入多い	5.15	5.15	11	
6		///		茶褐色		6.7m附近より粘土質となり粘性あり	5.50	5.50	11	
7		///		茶褐色		6.7m附近より粘土質となり粘性あり	6.15	6.15	11	
8	3.35	///	ロ-ム	茶褐色		6.7m附近より粘土質となり粘性あり	6.15	6.15	11	
9	5.55	///	ロ-ム	茶褐色		6.7m附近より粘土質となり粘性あり	6.15	6.15	11	
10		///		茶褐色		6.7m附近より粘土質となり粘性あり	6.15	6.15	11	
11		///		茶褐色		6.7m附近より粘土質となり粘性あり	6.15	6.15	11	
12		///		茶褐色		6.7m附近より粘土質となり粘性あり	6.15	6.15	11	
13	4.65	///	砂	暗茶褐色		礫径10~50mm多く最大80mm位礫混入階段的	4.4.5	9.15	13	
14		///		暗茶褐色		礫径10~50mm多く最大80mm位礫混入階段的	4.6.7	10.15	19	
15		///		暗茶褐色		礫径10~50mm多く最大80mm位礫混入階段的	10.15.15	11.15	37	
16		///		暗茶褐色		礫径10~50mm多く最大80mm位礫混入階段的	12.15.20	12.15	16	
17		///		暗茶褐色		礫径10~50mm多く最大80mm位礫混入階段的	13.5	13.15	9	
18		///		暗茶褐色		礫径10~50mm多く最大80mm位礫混入階段的	13.15	13.15	9	
19	2.15	///	粗砂	灰褐色		粒径不均質水分含有多い	13.15.3	14.15	9	
20	0.35	///	砂質粘土	灰褐色		粒径不均質水分含有多い	14.3.2	15.15	9	
21	1.00	///	砂質粘土	灰褐色		粒径不均質水分含有多い	14.9	16.15	17	
22		///	砂	灰褐色		粒径不均質水分含有多い	15.15.15	17.15	13	
23	1.25	///	砂	灰褐色		粒径不均質水分含有多い	17.15	17.15	13	
24		///	砂質粘土	茶灰色		上部礫多目下部細砂多い	17.15.15	18.15	9	
25	1.60	///	砂質粘土	茶灰色		上部礫多目下部細砂多い	18.15	19.15	9	
26	0.55	///	細砂	青灰色		粒径均一細砂	18.15.15	19.15	9	
27		///	中砂	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	19.15.15	20.15	21	
28		///	粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	19.15.15	21.15	50	
29	2.05	///	細砂	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	21.15	22.15	18	
30	0.95	///	砂質粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	22.15	23.15	16	
31		///	砂質粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	23.15	24.15	20	
32	1.50	///	砂質粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	24.15.10	26.15	21	
33		///	砂質粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	26.15	27.15	24	
34		///	砂質粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	27.15	28.15	24	
35		///	砂質粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	28.15.23	29.15	21	
36		///	砂質粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	29.15	30.15	21	
37		///	砂質粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	30.15	31.15	21	
38		///	砂質粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	31.15	32.15	21	
39		///	砂質粘土	青灰色		粒径均一の中砂少量の腐植物混る	32.15	33.15	21	
40	4.05	///	砂質粘土	青灰色		固結状を呈している	33.17.5	34.15	50	



ボーリング柱状図

調査名 県立芳賀高校改築地質調査 孔番 No. 16.2 地盤高 m

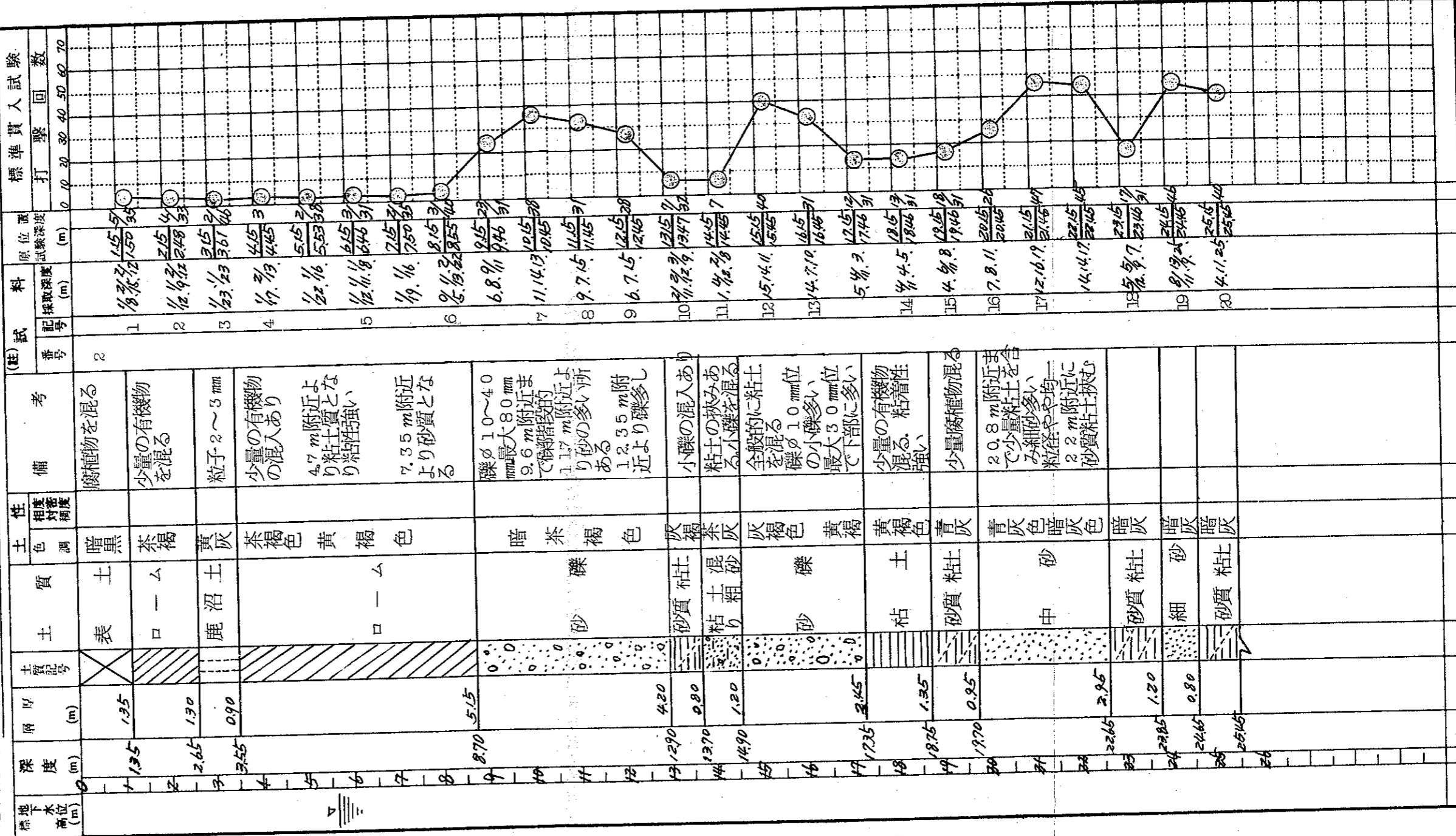
調査場所 芳賀郡芳賀町祖母井 376 (基準面)

地 形 摘要

調査期間 昭和 56年 2月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-5.65m

調査担当者



ボーリング柱状図

調査名 県立芳賀高校改築地質調査孔番 No. 16.3 地盤高 _____ m

調査場所 芳賀郡芳賀町祖母井 1.676 (基準面)

地 形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和56年2月 _____ 日 ~ _____ 月 _____ 日

地下(孔内)水位 GL-5.85m

調査担当者 _____

